

Problem-oriented system に基づいた全人的医療

この度、3週間という短い期間ですが、魚沼基幹病院総合診療科で実習させていただきました。お忙しい診療の合間を縫って、田中先生をはじめとして沢山の先生方にご指導いただきました。

魚沼は高齢化率が非常に高い地域で、入院患者さんの多くは複数の問題を抱える高齢者でした。尿路感染症で入院されている方に嚥下機能障害や難聴、腰椎圧迫骨折、認知症などの背景があることは稀ではありません。その中で、それぞれの問題ごとに病態を評価し、患者さんの QOL を高めるために最善のプランを立てるプロセスに学生のうちから触れることができ非常に良かったと感じます。

しかしながら、医学的問題がある程度治癒しても、社会的問題や心理的問題が潜んでいて、すべての患者さんが元の生活に容易に戻れるわけでないことも垣間見ることとなりました。

このように、今回の実習では大学での実習ではなかなか触れることのできない、全人的に診るとはなにかを実感することができました。この経験を忘れず、卒後の医師人生に必ず繋げていきたいと思えます。改めまして、この度の実習の実現に関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。